

令和4年度事業報告

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

1 概況

令和4年に入りオミクロン株を含めた新型コロナウイルスの感染症が拡大し、まん延防止等重点措置が出され社会経済活動に影響が出ました。

その後、まん延防止等重点措置が解除され、コロナ禍で社会経済活動は緩やかに持ち直しが続きました。その一方で、物価の高騰により景気後退が懸念され経済活動に影響が出ました。

また、高齢者の労働環境も65歳までの継続雇用制度、令和3年4月からは70歳までの就業機会確保が努力義務化され、働く機会の多様化が進んできました。

令和4年度は、第6次中期計画の初年度に当たり、当センターにおいても新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、就業拡大、会員増強、地域貢献活動、安全就業、経費削減に取り組み、持続可能な事業を展開してきました。

契約金額については、令和4年度事業実施計画目標値4億5,400万円に対して△973万円の減となりましたが、公民館関連事業、会館管理業務及び大学関連業務の就業拡大が図られ、契約金額は、令和3年度4億1,242万円に対し、令和4年度4億4,427万円となり、対前年度比3,185万円(7.7%)の増となりました。

また、公共部門では2億4,185万円、対前年度比2,060万円(9.3%)、民間部門では2億242万円、対前年度比1,125万円(5.9%)となり、公共・民間部門ともに増になりました。

会員数の増強については、出張入会説明会、入会時の手続きの改善を行い、また「いきいき小金井」や「リーフレット」を全戸配布した結果、令和3年度末1,018人に対し、入会者131名、退会者105名となり令和4年度末1,044名、対前年度比26名(2.6%)の増となりました。

当センターにおいても、働き方の多様性から入会する会員の年齢が70歳代に移行し、年々高齢化が進んでいます。

地域貢献活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、地域班の清掃ボランティア活動(4地区)や職班のボランティア活動(5職班)を実施しました。

安全就業については、令和4年安全就業対策方針を策定、安全管理体制の充実、事故防止措置、会員の健康管理、安全教育の推進、安全意識の普及・啓発に努めてまいりましたが、結果、傷害事故10件、賠償事故8件がありました。

「高齢者等見守り活動」の取り組みについては、平成31年2月6日に小金井市と当センターの間で協定を締結し、令和3年度に引き続きボランティア活動として高齢者等の見守り事業に取り組んできました。

当センターのイメージアップを図るため、キャッチコピーを会員から募り、会員の

投票により「いつまでも 笑顔と健康 地域の輪」に決定しました。

また、分りやすい情報を発進するためホームページを再構築しました。

社会貢献活動を通して地域社会に貢献し、地域から頼られるシルバー人材センターを目指して取り組んできました。

2 事業実施状況（定款事項）

（1）就業機会の開拓及び提供

契約金額は4億4,427万円、就業率は年間86.9%となりました。

ア 受託能力の増強及び多くの高齢者に就業機会を提供するため、入会勧誘を積極的にを行い、年間入会者は131名となりました。

イ 事業就業拡大のため、リーフレットを見直し、新たに改定し、市内全世帯に配布することでPRを行いました。

ウ 毎月「事務局からのお知らせ」を発行し、就業情報の提供に努めました。

（2）労働者派遣事業

シルバー人材センター等労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について、派遣業務は6件、派遣会員は19名でした。

（3）研修

ア 施設管理業務等及び一般家庭を顧客とする新規就業会員を対象とした「新規就業者接遇研修」を実施し、「接遇」の重要性の浸透を図りました。

（ア）令和4年度新規就業者接遇研修会（出席21名）

イ 地域班及び職班等の新任リーダーを対象に、リーダーとしての役割及び留意、注力すべき点等、具体的な課題を設定し、質疑応答形式の研修を開催しました。

（イ）新任地区委員リーダー研修（出席6名）

（イ）新任職班長リーダー研修（出席6名）

ウ 他団体が主催する各種講習会、研修会に参加したほか、「福祉・家事援助班」による大掃除自主研修会を実施して、就業に必要な知識の習得や技能の向上を図りました。

（4）社会奉仕活動

ア パソコン班による梶野公園減災フェスタ パソコン無料相談・災害携帯電話活用（班員8名）

イ 学習教室班による中学生・小学生を対象に夏期学習教室（班員8名）

ウ 筆耕班による小金井市市民体育祭 賞状名入れ（班員2名）

エ 除草班による保健センター 落ち葉掃きと除草（班員14名）

オ ふすま班による桜町上水会館 障子の張替（班員11名）

カ 地域班による市内各地域での清掃ボランティア活動 (延164名)

キ 使用済み切手を収集し、小金井ボランティア・市民活動センターへ提供

(5) 情報の収集、提供及び普及啓発

ア 東京しごと財団及び第5地域シルバー人材センター主催の各種会合に参加し、高齢者の就業に関する情報の収集に努めました。

イ 会報を年4回発行し会員、発注者、関係団体等に配布し、センターの活動状況を広報しました。

ウ 「いきいき小金井」を発行し、市内全世帯及び関係機関に配布し、センター事業内容を周知しました。

エ 「市報こがねい」にセンターの事業内容を掲載し、センターのPRに努めました。

オ 「高齢者福祉のしおり」、「小金井新聞」にセンターの案内や広告を掲載し、入会促進、センター活動のPRを行いました。

カ 第5ブロック主催の「安全就業推進のつどい」に参加し、各センターの安全対策等の情報交換を行いました。

キ リーフレットを新たに改定し、市内全世帯に配布しました。

ク ホームページにセンター情報や就業情報を掲載し周知しました。

ケ 茨城県日立市シルバー人材センターが手工芸班の視察来所。活動、組織運営の情報交換を行った。

(6) 調査研究

ア 月々の就業実態を分析・検討し事業運営の資料としました。

イ 請負金額を見直すため、他センターの状況等を調査し、参考資料としました。

(7) 入会・就業相談

ア 事務所窓口及び電話により、就業並びに受注に関する相談に応じました。

イ 毎月第2木曜日に「入会説明会・入会手続き」を開催し、入会の促進に努めました。 (出席・173名)

ウ 7月の第1土曜日に東町会議室で「出張入会説明会」を開催し、入会の促進に努めました。 (出席・19名)

エ 「就業相談」を毎月1回開催していましたが、12月より月に2日、午前・午後と計4回開催しました。

(申込・10名)

(8) 安全

就業の安全を確保するため「令和4年度・安全就業対策方針」に基づき次のとおり安全就業に取り組みましたが、傷害10件、賠償8件の事故が発生しました。

ア 安全器具、保護具等の整備、点検

イ 安全標語の募集21名71作品

ウ 安全就業強化月間の設定(7月、12月)

(ア) 各駐輪場に「安全就業強化月間のぼり」の掲揚

(イ) 配備した救急箱等の点検と補充

(ウ) 安全標語ポスターの掲示

エ 就業現場安全巡回の実施(7月と12月、各月18箇所)

オ 職班長会議および職班会議等での安全就業に対する意識の喚起

カ 他団体主催の「安全就業推進大会」への参加

キ 安全就業推進員による会員の安全就業対策を検討

3 管理・運営事項

運営体制の充実・強化

(1) 会員の総意を決定する最高意思決定機関である総会を1回開催しました。

(2) 理事会を13回(定例12回、臨時1回)開催し、総会で決定された事業を執行しました。

(3) 三役部会長等連絡会議を12回開催し、事業運営の基本的事項の調整や部会の意思疎通を図りました。

(4) 専門部会を延13回、各種委員会を適宜開催し、事業の適正な運営と推進に努めました。

(5) 各職班の会議等については、昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催の中止・延期の措置を取り、特に開催する必要がある場合は参加者を少なくして開催しました。

(6) 入会式において、新入会員に対し、会員としての必要な心得及び地域班活動への理解を促し、基本理念の浸透及び会員意識の向上に努めました。